

伊那北高等学校の生徒の皆さんへ

令和2年度「薫ヶ丘クロスペンアカデミー」の開講にあたって

「薫ヶ丘クロスペンアカデミー」は同窓会、PTA、学校の三者が皆さんの学習活動を支援するために平成14年度に設立した、本校独自の組織です。設立趣意書には「生徒諸君の向学の気を養い、学究の道へと誘う契機なれ」と、設立の思いが綴られています。

クロスペンアカデミーでは、春と秋の「クロスペン講演会」、創立90周年記念事業で建設された高志館の管理と自習室の運営、模擬試験の実施、総合的な探究の時間への援助などの活動を行っています。

今年度のクロスペンアカデミー開講式を4月18日の伊那北高校創立100周年記念講演会に先だて行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染防止のため講演会が延期になりましたので、この書面を通してメッセージを皆さんにお伝えいたします。

学校目標に込められた思い

理事長（同窓会長） 酒井 茂

伊那北高校の前身、伊那中学校は大正9年（1920年）に設立されました。1918年11月11日に第一次世界対戦が終結してまもなく創立した我が校は、それゆえ学校の教育目標の第一に「平和を希求」することを掲げ、校章を「ペンは剣より強し」の理念を現す「クロスペン」としてペン中・ペン高の100年の歴史を重ねてきました。「薫ヶ丘クロスペンアカデミー」の名称は、この精神に由来します。

学校目標の第一はさらに、「真理と正義を探究する資質を養う」と続きます。机に座って先生から与えられる知識を受け取るだけでは、探究する資質を養うことはできません。一流の人に会って話を聞いたり、体験を通して知識を知恵に昇華させたりする事が不可欠です。薫ヶ丘クロスペンアカデミーは、そのような場を皆さんに提供する事を目指しています。

こんなときだからこそ

副理事長（PTA会長） 唐澤幸利

4月に予定されていた講演会が来年度に延期となり、薫ヶ丘クロスペンアカデミーの開講式がこのような形で行われますことは大変残念なことです。

とは言え、みなさんの学習は、「いつでも」「どこでも」意欲さえあればできるはずです。

こんなときだからこそ、いつも以上に自らの知的好奇心を高め、「学び」に貪欲になっていただきたいと思います。ありきたりの日常では求められない知恵が求められている今だからこそ、各々の「創意工夫」によって、みなさん一人ひとりの学習活動がさらに充実したものになることを祈念しております。頑張ってください。

教養とは

顧問（学校長） 埋橋 浩

本校では、同窓会とPTAが学習活動を支援する独自の組織があります。「クロスペンアカデミー」と称され、みなさんの進路実現に直結する活動のサポートと、学びの本質を支える部分のサポートをしていただいている。

後段の部分がいわゆる「教養」ということになるのでしょうか。多くの知識とは異なり、人々の考え生活を理解し、そこから身につける創造的な理解力や知識のことです。その力も合わせてつけて欲しいと願いのこもった組織が「クロスペンアカデミー」ということになります。

例えば、建築家を目指し人々の家屋を建てたいと考えている人が、「沖縄県と長野県の家屋を比べると屋根の形が違う、どうしてだろう？」を問いに建築以外の多くを学ぶということだと考えます。

ぜひ、みなさんも日常の授業では学びきれない「教養」を身につけて欲しいと願います。

また、クロスペンアカデミーでは、教員それぞれの得意分野で教養講座を開講しています。皆さんが授業とはまた違った学びの中で、新しい世界と出会うことを期待します。（今年度の開講講座は二学期以降にお知らせする予定です。）

※過去3年間の開講講座

- ・クラシック音楽を聴こう
- ・競技百人一首の世界
- ・測量士になろう
- ・攻略 日本外交史
- ・実験・実習生物
- ・豆本を作ってみよう
- ・翻訳に挑戦
- ・万華鏡を考える
- ・西洋文化特講
- ・ラジオを自作しよう